

科目名	プレゼンテーション 1							年度	2024	
英語科目名	Presentation 1							学期	後期	
学科・学年	機械設計科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	奥住 智也	教員の実務経験		有	実務経験の職種		電機メーカーにて、機械設計者・管理職として従事			
【科目の目的】										
自己表現方法のひとつである「プレゼンテーション手法」の基礎・ツールを体系的に理解することで、就職活動、進学、作品発表などの自己実現を練習し体得する事を目的とする										
【科目の概要】										
プレゼンテーションの目的理解とその準備の流れ、道具の使い方（パソコンリテラシ）、プレゼンテーションの進め方を学ぶ。										
【到達目標】										
基本的なコミュニケーションとしてのプレゼンテーションを学び、学校での学び・インターンシップ・将来の仕事・社会生活の中で、自分の意見を効率的に伝えることができるコミュニケーションスキルを身に付けることを目標とする。										
【授業の注意点】										
職業人としての知識習得の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、試験合格に向けて各自問題演習を行い合格をめざすこと。ただし、授業時数の4分の3以上出席（オンライン授業含む）しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A (自己表現)	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現し、聞き手を感動させることができる	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現できる	プレゼンテーションツールは活用できるが自身の意見は表現できない	プレゼンテーションツールが活用できず自己表現もできない					
到達目標 B (グループワーク)	グループでプレゼンテーションを行い自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	グループでプレゼンテーションを行いグループの意見を資料で表現できる	グループでプレゼンテーションを行うことができる	周囲の力を借りてグループでプレゼンテーションを行うことができる	グループでプレゼンテーションを行うことができない					
到達目標 C (個人発表)	単独でプレゼンテーションを行い自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	単独でプレゼンテーションを行い自身の意見を表現できる	単独でプレゼンテーションを行うことができる	周囲の力を借りて単独でプレゼンテーションを行うことができる	単独でプレゼンテーションを行うことができない					
到達目標 D (ツールの理解)	プレゼンテーションツールの使い方を理解し自身のオリジナルで実践できる	プレゼンテーションツールの使い方を理解し実践できる	プレゼンテーションツールの使い方を理解している	周囲の力を借りればプレゼンテーションツールを活用することができる	プレゼンテーションツールの使い方が解らない					
到達目標 E (プレゼン基礎)	プレゼンテーション手法と注意点、効果的な手法を理解し実践できる	プレゼンテーション手法を理解し、実践できる	プレゼンテーション手法を理解し、他者に説明できる	プレゼンテーション手法を理解している	プレゼンテーション手法を理解していない					
【教科書】										
各授業において適時必要な参考資料を配布する。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
演習課題	50%	課題を総合的に評価するレポート			20%	授業内容の理解度を確認するために実施する成果発表			20%	授業時間外
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		プレゼンテーション 1				年度	2024
英語表記		Presentation 1				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの目的とその方法を理解する	1 基礎理解	プレゼンテーションの基礎を理解している			
			2 目的の理解	プレゼンテーションの目的を理解している			
			3 方法の理解	プレゼンテーションの方法を理解し説明できる			
2	プレゼンテーションの作成準備（1）	アウトラインの作成と注意点を理解する	1 アウトラインとは	ストーリーを構築する必要性を理解している		3	
			2 作成方法の理解	アウトラインの作成方法を理解し実践できる			
			3 注意点の理解	注意点を把握し実践できる			
3	プレゼンテーションの作成準備（2）	わかりやすいタイトル・見出しの付け方を理解する	1 タイトルの必要性	タイトルの必要性を理解し説明できる		3	
			2 タイトルの付け方	テーマに沿ったタイトルをつけることができる			
			3 注意点の理解	注意点を把握し実践できる			
4	プレゼンテーションツールの使い方（1）	パソコンなどのプレゼンテーションツールの種類と使い方を理解する	1 ツールの種類	ツールの種類を理解し必要なツールを選択できる		3	
			2 ツールの使い方	ツールの使い方の基礎を理解している			
			3 注意点の理解	注意点を把握し実践できる			
5	プレゼンテーションツールの使い方（2）	パソコンなどのプレゼンテーションツールの使い方を理解し実践する	1 ツールの練習①	ツール練習課題①を完成させることができる		3	
			2 ツールの練習②	ツール練習課題②を完成させることができる			
			3 ツールの練習③	ツール練習課題③を完成させることができる			
6	プレゼンテーションの進め方（1）	プレゼンテーションにおける効果的な資料の作成方法を理解し実践する	1 進め方の理解	プレゼンテーションの進め方を理解し説明できる		3	
			2 効果的な説明法	効果的な表現方法を理解している			
			3 ツールの練習	効果的な表現方法を理解し実践できる			
7	プレゼンテーションの進め方（2）	プレゼンテーションの時間配分を理解し実践する	1 時間配分の大切さ	時間配分の大切さを理解し説明できる		3	
			2 時間配分の手法	時間配分の大切さを理解しその手法を実践できる			
			3 時間配分の練習	練習課題を完遂する事が出来る			
8	個人プレゼンテーション発表（1）	テーマに基づき、個人プレゼンテーションを準備し発表を行う	1 個人プレゼン準備①	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる		3	
			2 個人プレゼン準備②	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる			
			3 個人プレゼン準備③	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる			
9	個人プレゼンテーション発表（2）		1 個人プレゼン準備④	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる		3	
			2 個人プレゼン準備⑤	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる			
			3 個人プレゼン準備⑥	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる			
10	個人プレゼンテーション発表（3）	1 個人プレゼン準備⑦	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる		2		
		2 個人プレゼン発表	個人でプレゼンテーションを行うことができる				
		3 他者プレゼン評価	他己評価を行い自身のプレゼンに反映できる				
11	個人プレゼンテーション振り返り・評価	個人プレゼンテーションにおける振り返りを行い、改善点を理解する	1 ふりかえり	自身の発表の振り返りを行うことができる		3	
			2 改善点の理解	ふりかえりに基づき改善点を抽出できる			
			3 改善内容の実践	改善点を自身の発表に反映できる			
12	グループ プレゼンテーションのポイント	個人とグループでのプレゼンテーションの違いを理解し、テーマの検討を行う	1 グループプレゼンの目的理解	グループ作業の違いを理解し説明できる		3	
			2 グループプレゼンの注意事項	自身の適性に応じた役割を俯瞰的に理解し実践できる			
			3 グループプレゼン準備①	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる			
13	グループプレゼンテーションの発表（1）	テーマに基づき、グループプレゼンテーションを準備し発表を行う	1 グループプレゼン準備②	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる		3	
			2 グループプレゼン準備③	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる			
			3 グループプレゼン準備④	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる			
14	グループプレゼンテーションの発表（2）	1 グループプレゼン準備⑤	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる		2	2	
		2 グループプレゼン発表	グループでプレゼンテーションを行うことができる				
		3 他グループ評価	他己評価を行い自身のプレゼンに反映できる				
15	グループプレゼンテーションの評価とまとめ	グループプレゼンテーションにおける振り返りを行い、改善点を理解する	1 ふりかえり	発表の振り返りを行うことができる		3	
			2 改善点の理解	ふりかえりに基づき改善点を抽出できる			
			3 改善内容の実践	改善点を自身の発表に反映できる			
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							